

令和2年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく改善報告書

【国際関係学部・短期大学部（三島校舎）】

①学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和3年6月17日（木）	FD委員会委員長，FD委員会副委員長（司会進行），学部教員（令和2年度FDチャミット参加者）1名，短大教員（令和2年度FDチャミット参加者）1名，FD委員会幹事（教務課員）2名，国際教育センター課員1名，昨年度参加学生・チャミットコアスタッフ・公募スタッフ7名の計14名がオンライン会議（Zoom）にて，学部提案書について1時間30分程度，実現に向けて意見交換を行った。

②改善点について

項目	実施済	検討中	実施不可	実施内容
・オンライン授業における教員側のマニュアル作成について（授業の実施方法や授業資料の作成方法が統一されていない，また出欠の管理方法についても統一して欲しい）	○			国際関係学部・短期大学部（三島校舎）では，授業の実施方法，授業資料の作成方法について教員側のマニュアルを作成し，Googleサイトで共有している。また，オンライン授業実施にあたり，オンライン授業実施準備委員会を立ち上げ，専用のGoogleClassroomで専任・非常勤講師を含めて情報共有を行っている。出欠管理については，GoogleClassroom内で履修者に提示するよう指示している。学生からは，オンライン授業においてもライブ感を求める声も多いことから，授業の性質（語学，演習等）により，実施方法の統一に向け今後検討していく必要がある。
・オンライン授業の受講上のルール整備について（提出課題期限の緩和，Zoomを使用した際のカメラの使用等について明確にして欲しい）	○			教員側のマニュアルには，Zoomでカメラを使用する際に事前に履修者の許可を求めるよう示している。（肖像権，通信量の問題を含めて対応済）課題提出については，課題掲載から次の授業までに提出する等，昨年度から改善はしている。課題提出に係る問題については，オンライン授業と関連がなく，対面授業でも同様のことが起こりえる。授業の学修成果として求めるものであり，課題の量についても調整している。
・教材の購入方法について（所定の書店からではなく，個人でも自由に購入したい）		○		現在，学部指定の書店を経由し，指定教科書等の購入をお願いしているが，個人でインターネットを利用して購入していただいても問題ない。ただし，指定教科書については，外部で購入する場合，欠品の物も多く学内での購入を有効に活用して欲しい。
・定期的な先生と学生との交流の場について（オンライン授業において，オフィスアワーが機能していない）		○		シラバスに掲載されているオフィスアワーについては，オンライン授業において実質機能していないため，オンラインにおいても事前の予約等で受け付ける等検討していきたい。また，学生から個別に担当教員へ問い合わせる際，GoogleClassroom内の教師側のメールアドレスが登録されていない教員が散見される。メールアドレスの登録については，学務委員会等から登録のお願いをしたい。また，参加している教員からも意見があり，オンライン授業において24時間常にオフィスアワーの状態となり，学生への問い合わせについてもルール整備等を含めた，教員の労働環境についても整備していきたい。

③今後の要望について

項目	実施済	検討中	実施不可	実施内容
・学費の減額について（コロナ禍において，大学の設備を十分に使用していない。コロナ禍における家計の収入減もあるため，学費を安くして欲しい。）			○	学費は，使用の目的により授業料，施設設備資金等に分かれており，入学から卒業までに至る学修機会を確保するための総額になる。施設設備資金は，教育環境を継続的に整えるために必要なものである。上記理由を説明し，減額は現時点では検討していない旨，説明。 また，学費の減額には対応できないが，日本大学創立130周年記念奨学金，学費納入期限の猶予，学修環境補助費として3万円の給付，各種証明書の手数料等免除，ノートPCの無償貸し出しには対応している。

令和2年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく改善報告書

<p>・海外の大学との交流について（令和3年度においても海外渡航が禁止されている。Zoomを使用したオンライン留学を検討して欲しい。）</p>	○		<p>令和3年度において、国際関係学部と提携する大学（セント・ノーバート・カレッジ、台湾静宜大学、慶熙大学、ハワイ大学）とのオンライン留学プログラムをポータルサイトを經由して紹介している。今後の、ワクチン接種状況により海外留学に対する目途が不透明な部分も多々あるが、単位認定を伴う中・長期プログラム実施に向け検討していきたい。</p>
<p>・オンラインサロンについて（コロナ禍において、学生同士で相談する相手がいない。Zoomを活用したオンラインサロン（交流の場）が欲しい。）</p>	○		<p>令和3年度に、語学学習においてオンライン授業で単位を修得した上級生が新入生に対して相談する場をオンライン（Zoom使用）で設けた。（語学教育検討委員会管轄）スペイン語と英語で試験的に実施し、ブレイクアウトルームの機能を使い、各言語の個別相談も実施した。クラブ・サークル活動の学生生活やその他の授業における、オンライン交流会の実施は、今後検討していきたい。</p>
<p>・他大学の団体や全国規模の外部団体との繋がりについて（オンラインでの他学部との相互履修も実現して欲しい。）</p>	○		<p>従来、LMSが学部間で異なるため、対面での相互履修しか出来なかったが、GoogleClassroomを介して可能な部分もあるため、前向きに検討していきたい。他大学とのオンラインでの交流については、ゼミナール単位で行われており、多くの学生がそういった機会が得られるよう拡大していきたい。</p>

④改善や要望を受けて、国際関係学部・短期大学部（三島校舎）から学生へのメッセージ

改善ミーティングを通じた積極的なご意見・ご要望等ありがとうございました。今回、皆様のご意見・ご要望を受け、大学としては、出来ることから対応させていただきます。今後、状況により対面授業が再開となったとしても、オンラインのメリットを活かした授業を併用し、学生の皆さんに寄り添いながら授業改善を図って参ります。